

令和7年度入試より 自己推薦入試を実施します (G探究コース)

01 出願資格

自己推薦入試について

本校を第一希望とし、

- 明確な志望動機があること
- 入学後の高校生活に明確な目的意識を持っていること

02 選抜方法

- 「中学校時代に頑張ったこと」を
テーマにしたプレゼンテーション**
- プレゼンシート作成 (40分)
 - プレゼンテーション (5分程度)
 - 質疑応答および面接 (10分程度)
- ※補助資料の持ち込み可**

02 選抜方法

- ※補助資料とは**
プレゼンテーションの際に
自分の活動を証明するもの
作品・賞状・合格証書
写真・新聞記事・動画等
(デジタル端末で準備してもよい)

02 選抜方法

「中学校時代に頑張ったこと」とは
部活動、探究活動、自由研究、
コンクール、各種検定、資格取得、
芸術・スポーツ分野の成果、
ボランティア、社会貢献活動 など

03 出願について

自己推薦入試について

- 入学願書（WEB出願・受験生本人）
- 調査書（各中学校作成）
- 志望理由書（受験生作成）

04 志望理由書の内容

- 1 入学を希望する理由
- 2 プレゼンテーションのタイトル
- 3 プレゼンテーションの内容の要約（150字）
- 4 プレゼンテーションの補助資料を明記
（記入例）
探究活動の動画・資料
探究活動が掲載された新聞記事

05 受験当日の流れ

- ① プレゼンテーションシート作成（40分）
→ 他の受験生と同じ部屋
- ② プレゼンテーション（5分程度）
- ③ 質疑応答および面接（10分程度）
→ 別室で個別に行う

05 ①プレゼンシート作成 40分

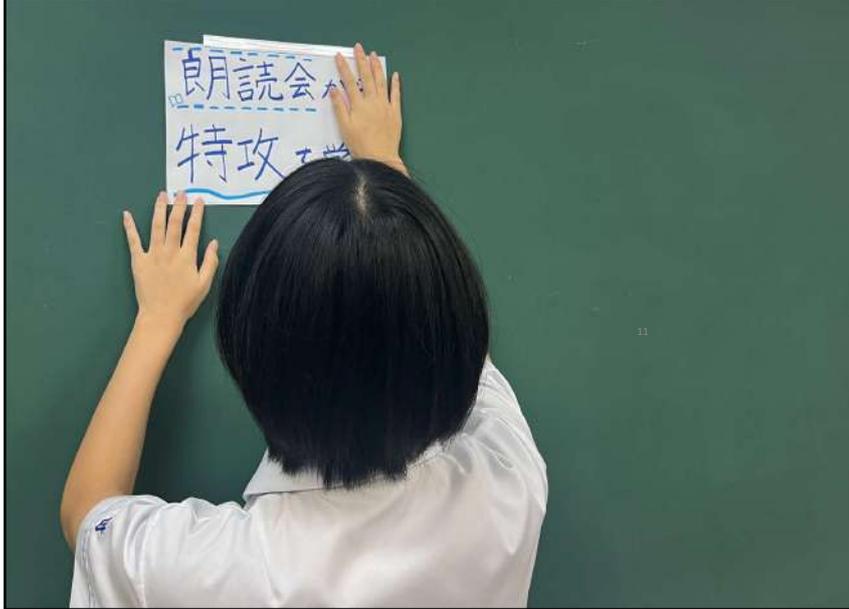


- ・作成時間40分
- ・プレゼンシートはA4サイズ
- ・シート、ペンは本校で準備したものを使用する

05 ①プレゼンシート作成 40分

- ・プレゼンシートは10枚程度作成
- ・1枚目はタイトルとする（氏名は不要）
- ・作成中はデジタル端末の使用は禁止する
- ・紙は予め多めに準備してあるので書き間違えた場合はやり直せる

05 ②プレゼンテーション 5分程度



- ・プレゼンシートを
マグネットで
黒板に貼る

05 ②プレゼンテーション 5分程度



- ・プレゼンシートの
貼り方は自由
- ・自分のプレゼンが
しやすいように

05 ②プレゼンテーション 5分程度

プレゼンテーションは**5分程度**

- ・ 黒板にプレゼンシートをすべて貼り
- ・ 受験番号・名前・プレゼンタイトルを述べてから
プレゼンテーションをスタートする

うれ

05 ②プレゼンテーション 5分程度



- ・ 3メートル程度
離れている人に
届く声の大きさで

05 ②プレゼンテーション 5分程度



- ・補助資料はそばのテーブルに置く
- ・必要に応じて審査の教員に示す

05 ②プレゼンテーション 5分程度



- ・近づいて見せに行ってもよい

05 ②プレゼンテーション 5分程度

- 審査する教員との距離は3メートル程度
- 審査する教員に届く声の大きさを心がける
(マイクなどの使用はなし)
- 見えるところにタイマーを設置しているので
時間を確認しながら進める
(ベルなどは使いません)

05 ②プレゼンテーション 5分程度

- 補助資料は自分のそばにある机の上に置き、
必要に応じてプレゼンの最中に示す
- 必要な場合は、審査の教員に近づき、
直接見せるなどする
- 動画などを見せる場合も同様
(デジタル端末などを用いてよい)

05 ③質疑応答と面接 10分程度



- ・プレゼン終了後、審査の教員からプレゼンの内容についての質問があるので必要に応じて答える

05 ③質疑応答と面接 10分程度



- ・質疑応答の後、面接になります
- ・用意された椅子に着席して受け答えをする
- ※志望理由などはここで述べる

05 ③質疑応答と面接 10分程度

- プレゼン終了後、質疑応答
→プレゼンの内容についての
審査の教員からの質問に答える
- 質疑応答終了後、面接
→準備された席に着席して答える
(志望理由などはここで述べる)

06 評価のポイント

<プレゼンテーション>

(観点) 視線、声の大きさやスピード、時間など

<発表の内容>

(観点) 内容の構成、文字の大きさ、見やすさなど

<質疑応答と面接に対する受け答え>

(観点) 質問内容の理解、答え方およびその内容